

日本ブリーフセラピー協会 第 13 回学術会議へご参加・ご協力いただいた皆様へ

この度は、本大会にご参加・ご協力いただき誠にありがとうございました。新型コロナウイルス感染の拡大およびそれに関連した社会情勢が見通せない中での開催となりましたが、皆様のおかげで無事に会期を終えることができました。

本大会は、オンライン上でのコンテンツ提供だけでなく、本協会としては初の試みであるハイブリット形式での開催でした。運営・案内等が不十分でご参加・ご視聴いただいた皆様にはご不便をおかけする場面もあったかと思えます。この場を借りてお詫び申し上げます。

大会コンテンツの提供にご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました。先生方のおかげで密度の濃いコンテンツを提供することができました。特に、Dr. Cannistrà 先生、吉川 吉美先生におかれましては、ご多忙の中、大会の意図を十分に汲んだ、学びの多いプログラムをご提供いただいたこと、心より御礼申し上げます。

また、匿名でのご参加となりましたが、大会企画シンポジウムにご登壇いただいた I さま、M さまにおかれましては、阪神淡路大震災当時の貴重な経験を語っていただき、ありがとうございました。阪神淡路大震災と東日本大震災という二つの大きな災害の経験がオンライン上ではございましたが、釧路という地で交わったこと、その様子を災害支援に関わる可能性のある多くの方にご視聴いただけたことは、本当に価値のあることだったと感じております。

今回の学術大会が、ご参加・ご視聴いただいた皆様にとって、日々の臨床活動・研究活動・教育活動を豊かにすることに少しでもつながったのであれば、大会実行員としてこの上ない喜びです。

末筆ながら、ご参加・ご協力いただいた皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

日本ブリーフセラピー協会第 13 回学術会議
大会長 浅井継悟